

きれいな空気よいい水を求めて

会報 かんきょう

Vol. 4



photo : 「リバウエル井川」

平成 18 年度 定期総会開催

- 新会長就任の挨拶 ...1
- 平成 18 年度環境保全功労者の表彰 ...2
- 講演会 “ 企業の社会的責任 ” ...2

環境の日

三保真崎海岸で清掃奉仕活動 ...3

県内優良施設見学研修会

- 東芝テック(株) 三島事業所
- びゅうお 沼津港大型展望水門
- (株)イワマワークス ...4

かんきょうにゅーす ...5



この会報誌は古紙配合率 100%、
白色度 70% の再生紙を使用してい
ます。

平成18年度
定期総会

静 岡 市 環 境 保 全 推 進 協 力 会

平成18年度 定期総会 開催

時:5月12日(金) 於:(株)ブケ東海 静岡 6階「カトレア」

平成18年度の定期総会が79名の参加者で開催され、来賓の静岡市助役の松田秀夫氏、静岡市議会議長の伊東稔浩氏からご祝辞を賜りました。清水商工会議所 理事・事務局次長の赤堀武氏、東海大学名誉教授の岡部史郎氏を紹介し、平成18年度環境保全功労者の表彰式が行われ、その後6つの議事について審議を行い承認されました。なお、今年度から会費が統一され支部が廃止されました。



- 報告第1号 平成17年度事業報告
- 認定第1号 平成17年度収入・支出決算
- 第1号議案 規約等の改正(案)について
- 第2号議案 役員を選任(案)について
- 第3号議案 平成18年度事業計画(案)
- 第4号議案 平成18年度収入・支出予算(案)

講演会終了後、講師の大坪先生を初め45名が参加して、意見交換会が4階「アイリス」で行われ、会員同士の親睦を図る歓談が行われました。



新会長就任の挨拶

三菱電機 株式会社
静岡製作所



所長
梅村博之

この度、本年度の会長を仰せつかりました 三菱電機(株)静岡製作所の梅村でございます。

会長就任にあたり、一言ご挨拶をさせていただきます。

近年、様々な環境問題への取組みが益々重要になってきております。

この素晴らしい地球の自然環境を後世に確実に引き継いでいくためにいままででない努力と全てのものに対する思いやりが必要だと考えます。

また静岡市民及び企業が共に手を携えて協力していくことも重要です。

このような中、新静岡市となり、当協会の活動も今年で3年目に入り、ますます一体となって発展させていく必要があると考えます。

清掃奉仕活動、優良施設見学研修会、会員による事例発表会、環境セミナー等の活動を通じて会員の皆様方と共に環境保全に向けて頑張っていきたいと思っております。

最後に、会員皆様の更なるご発展を祈念いたしますとともに当協会へのご支援、ご協力をお願いいたします。

定期総会

静岡 岡 市 環 境 保 全 推 進 協 力 会

平成18年度 環境保全功労者の表彰

(株)エコプロ・リサーチ 分析センター
主任研究員
平井 明 様

この度は、環境保全功労者の表彰をいただき、誠に有り難うございました。私は、長らくクミアイ化学工業(株)で、農業の人や環境に対する安全性に係わる仕事をしてまいりました。その後現在の会社に向かい、今では環境計量士の資格も取得し計量業務に励んでおります。

弊社のような環境計量証明事業者は、通常顧客から試験対象物を提供され、その対象物の特性を自らの試験活動による測定結果で保証するという形が一般的ですが、この保証は顧客のみに対してではなく、試験対象物を使用あるいは利用するすべての者に対してなされなければならない責任があります。データの信頼性や正確性といった要求はますます厳しくなり、現在当社ではISO / IEC 17025 試験所認定を目指し、マネジメントシステムをさらに強固にすべく各種作業を進めております。

常に信頼性のあるデータを提供することで、環境保全に貢献できることを信じ、今後ともそれに係わる人間として精進していきたいと思っております。

(有) 神 商 会
専務取締役
神宮寺俊光 様

この度は環境保全功労者の表彰を頂き、身に余る光栄と大変嬉しく思いました。授与式の晴れやかさと、日頃の仕事環境のギャップに少々戸惑いました。

父からこの部門の仕事を引き継ぎ、我々が勝手に使い利用し汚い水で自然に返す事のすまなさを自分の手で何とかクリアーしてきれいな水にして自然に返す事に夢中になり昼夜問わず戦ってきたら、いつしか20年経ってしまったというのが現状でした。工場排水は人間と同じで性格もまちまちなら機嫌もその都度変化する。付き合うのに少しも気が抜けませんが、暴れる水と向き合って仲良くなった時の快感は、比べ様の無い喜びであります。これからもこれを繰り返しながら自然環境を守る為に頑張っていく覚悟です。

三井・デュボンフロロケミカル株式会社
清水工場 エンジニアリングチーム マネージャー
下玉利明 様

この度は、環境保全功労者の表彰を頂き、誠にありがとうございます。

当社は、環境を保護し、人の安全と健康を確保する為、「基本理念」と「行動指針」を定め、レシポンシブル・ケア活動を推進しています。

環境面では、ゼロエミッション、省エネルギー、資源リサイクル等、数々の活動に取り組んでおり、成果も着実に上がっています。

私自身も、これらの環境に関わる設備面での業務に長年携わってきました。今回の受賞を機に、更に環境保全に貢献できるよう努力して行きたいと思っております。



前列左から、下玉利明様、神宮寺俊光様、平井明様
後列左から、前会長・山田訓史様、会長・梅村博之様

講演会

[演題] 企業の社会的責任

[講師] 静岡産業大学学長 大坪 檀氏

我々企業を取りまく環境がより厳しくなっている現在「企業の社会的責任」と題して、(株)ブリヂストンにて日米両国で経営に参画され、現在静岡産業大学の学長である大坪檀氏にご講演をいただきました。

その中で、(株)ブリヂストン時代のエピソードを面白おかしくお話をされながら、「企業の存在理由は何か」「社会が企業を必要とする理由は何か」とのお話から、「企業の役割り」「経営者の役割り」について、幅広くまたわかりやすいお話をいただきました。

企業の最大の使命は社会的な貢献であり、社会に必要なものを提供することである。必要の無いものを作れば、捨てることになりそれはごみとなる。したがって、企業は必要なものを見極めることが大切である。また、企業は地域社会の発展のためにも人材を育てる責任があり、人づくりをもっと考えなければいけない。これらが、文化芸術の育成につながり地域の発展にもつなが



っていく。

これらを経営者が十分自覚し、責任を果たしていけば企業は利益をあげることが出来、社会に役立つこととなる。静岡は地域愛が強い土地柄であり、企業にも社会にも良くも悪くも大きく影響するところだが、経営者がしっかりと自覚して行けば静岡もより発展する

ことが出来る。

日本には将来まだまだ夢があり発展する力はある。少子化が叫ばれているが50年たっても人口は1億人いるだろう。したがって、これからの日本は大きな成長をすることが出来るだろうと結んでいます。

我々企業が社会的責任を十分果たしていけば、まだまだ発展していく余地はあり、静岡の未来、日本の未来も明るいと力づけられました。企業の社会的責任については再認識させられた大変有意義な示唆に富んだ講演でした。

静岡ガス株式会社 静岡支店 松本英伸



三保真崎海岸にて 清掃奉仕活動

鈴与株式会社 総務部 不動産チーム
 小倉由理

三保真崎海岸 清掃活動に参加して

「白砂」「青松」そして「富士」とおめでたくいいことづくし、歌川広重も描いたような“あまりに出来すぎていて現実にあるとは思いがたいまさに絵空事のような風景”。そんな理想化されたような典型的な日本の風景が実際に目の当たりにできる場所、それが三保だと思います。日本人誰もが心の奥底に抱く類型、ですがそれゆえ、皮肉にも私達はその光景を“そこに当然あるもの”と錯覚し、“守るべきもの”だということを忘れていないでしょうか。

6月3日土曜日、晴れ渡る空の下三保真崎海岸での清掃活動に初めて参加致しました。広大な景色に感動したものの、ふと海岸をみるとタバコの吸殻、ペットボトル、花火のゴミ等がたくさん落ちていました。拾い終わったゴミの山の中には壊れた為に捨てていったのか、ゴミ袋にはとても入らない程の大きなガスコンロまであり、そのあまりにも身勝手な行為に驚くとともに、その環境への配慮のなさ、持つ意識の低さに情けなさを覚えました。

しかしながら、当日は地域の方々を始め、多くの企業の方々、そのご家族など実に約800人もの方が参加され、太陽が照り付ける、初夏の軽く汗ばむような陽気の中であったにもかかわらず、約一時間誰一人文句を言わず黙々と活動をされている姿は印象的で感動すると同時に、私もしっかりやらなければと、気が引き締まりました。また、清掃活動終了後にはビンゴ大会が実施され、私は司会進行・景品配りを務めさせて頂いたのですが、「ビンゴ!」と叫ぶ大きな声や、当たった景品を笑顔で持ち帰る大勢の参加者の方々と触れ合うことができ、嬉しく思いました。

見違えるように綺麗になった海岸を見ると、一人一人が出来ることは限られていても、大勢の人と



ビンゴゲームの様子



協力し合えば大きな力となることを実感しました。ですが、それは逆に一人一人が「自分だけならたいしたことはない」とゴミを捨てればたちまちもとの姿に戻ってしまうことを意味するはずで。“綺麗にすること”が目的ではなく、“綺麗であり続けること”が重要で、それには環境に対する高い意識と三保を大切にする気持ち、そして実際に清掃に携わったという経験とその時感じた思いを忘れないことがきっと大きな財産となって、今後良い結果に結びついていくのだと思います。今回の清掃活動は近年世界的に大きな関心が寄せられている環境問題を身近なものとして真剣に考える機会を与えてくれ、また同時に静岡が誇るべき三保の素晴らしさを再認識することができ、貴重な体験となりました。

「県内優良施設見学研修会」に参加して

DATA

日時 / 平成18年7月26日(水)

見学施設 / 東芝テック株式会社 三島事業所
びゅうお 沼津港大型展望水門 株式会社イワマワークス

長引く梅雨の合間、久しぶりに晴れ間が覗いた7月26日、26社31名、事務局2名、総勢33名が参加して、県東部の環境対策に秀でた優良施設二ヶ所を訪問しました。最初に訪れたのは、東芝テック株式会社 三島事業所さんでした。会社の約束に「環境保全」を掲げ、ISO14001取得は勿論、法規制より厳しい基準を持った自社ルールを自らに課していました。環境保全に対するの真摯な取り組みが、見学させて頂いたそこ彼処に見受けられました。環境コーナードisplayによる社員への啓発、38種類のゴミ分別、配管の見える化、リサイクルセンターでの徹底的資源再利用、再販の実施等々、住宅地に隣接する工場として、地域に対するきめ細かい配慮も見習うべき点として心に留まりました。とても驚いたのは16:30から17:00までの30分間、工場全体のエアコンを強制的に止める、とのこと。それを問題無く実行している、いざ自分の会社だったらどうだろう？

と思いました。決して安くはない設備投資、人的な投入もさることながら、会社としてのポリシー、強い意思の表れであり、CRS(企業の社会的責任)について考えさせられました。今後、世界各地にある工場に水平展開をしていく、とのこと。独自の技術と高品質な製品で世界に進出されている東芝テック株式会社さんの真の強さを垣間見た思いでした。お忙しい中、参加者の質問に丁寧に対応頂いた総務、環境保全担当の皆様がこの場を借りて感謝申し上げます。

続いて訪問したのは、富士市にある東海オートリサイクルセンターこと、株式会社イワマワークスさんでした。工業専用地域とはいえ、こちらもお隣には民家があり、地域と共存を念頭に掲げられ、車輛の解体工場とは思えないほど明るくきれいな外観で

した。作業スペースが十分に取られ、待機車輛が整然と置かれていました。我々参加者が入り口を通過し、事務所の前を通った時、社員の皆さんが立ち上がって大きな声で挨拶をされていて、とても気持ちよく感じました。弊社も現場を持っていますが、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)は現場運営の基本と考えています。

「ここは基本ができてるな！」と素直に感心致しました。見学させて頂いた現場は、ライン毎に車輛が手際よく分解され、国内ディーラー用の中古保守部品、輸出用のエンジンパーツ、そしてオンラインSHOP用の中古パーツ、アクセサリを取り出し、それ以外はすべて再処理、再資源化できる金属等に分別、ゴミ発生“0”を実現している、とのこと。もはやリサイクルは生産の補完的立場にはなく、一つの産業、これからの事業としてのポテンシャルティーを感じました。時として不法投棄が問題になります。この事業の維持、推進が、いかに困難であるかが判ります。リサイクル関連法を熟知し、最新の廃油処理プラントを設置され、必要な許可、認証を取得、着実に事業を発展させ、実績を上げている株式会社イワマワークスさんの弛まぬ努力に敬意を表したいと思います。「廃棄車輛はすべて有効に活用されるわけですから、廃棄料なんて必要ない」優良リサイクル業者のみが語るができる言葉ではないでしょうか。乗用車の廃棄は運転する我々にとって身近な問題です。知らなかったことを知るよい機会になりました。社長さんが率先して参加者からの質問に答えて頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

鈴木株式会社 総務部 総務チームリーダー
池谷和士



東芝テック(株)三島事業所

びゅうお沼津港大型展望水門



(株)イワマワークス

事務局からのお知らせ

平成 18 年度事業報告・事業計画

平成 18 年度の事業報告とこれからの事業計画をお知らせします。

理事会(5 月 12 日)【16 名出席】

平成 18 年度環境保全功労者表彰
平成 17 年度事業報告
平成 17 年度収入・支出決算
規約等の改正(案)について
役員を選任(案)について
平成 18 年度事業計画(案)
平成 18 年度収入・支出予算(案)

定期総会(5 月 12 日)【79 名出席】

平成 18 年度環境保全功労者表彰
平成 17 年度事業報告
平成 17 年度収入・支出決算
規約等の改正(案)について
役員を選任(案)について
平成 18 年度事業計画(案)
平成 18 年度収入・支出予算(案)
講演会『企業の社会的責任』
静岡産業大学学長 大坪 檀 氏
意見交換会(40 名出席)

環境月間(6 月 1 日 ~ 6 月 30 日)

公害防止施設の点検整備の実施
事業所内外の清掃美化の実施
「環境の日及び環境月間行事実施要領」を参照の上、積極的な行事への参加。
事業所におけるアイドリングストップの周知及び実施に努める。

清掃奉仕活動(6 月 3 日)【819 名参加】

環境基本法第 10 条の主旨に基づき地域環境美化活動に参加する。三保真崎海岸の清掃奉仕活動

「清流の都・静岡」円卓会議(7 月 2 日)【44 名出席】

静岡市主催に協力

県内優良施設見学研修会(7 月 26 日)【33 名出席】

東芝テック(株) 三島事業所
びゅうお 沼津港大型展望水門
株イワマワークス

興津川クリーン作戦(9 月 9 日)【596 名参加】

興津川保全市民会議主催に協力

環境セミナー(9 月 15 日)【53 名出席】

「富士山の光と陰」動物写真家 中川雄三氏
県外優良施設見学研修会(11 月 9 日 ~ 10 日)
(株)デンソー
日本環境安全事業(株)豊田事業所
トヨタ会館

担当者研修会(1 月)

環境保全担当者の実務研修会

研修会(1 月)

会員による環境問題の取り組み事例発表会

環境学習(2 月)

静岡市立川原小学校でケナフの紙漉き

新規会員募集

新規に会員を募集する

会報発行(9 月・3 月)

会報「かんきょう」Vol.4 号・5 号を発行

啓発活動(随時)

ノーカーデー市民啓発事業への協力
会員増加の啓発活動

情報提供(随時)

お知らせ

「第 4 回しずおか環境・森林フェア」 セミナーの開催について

静岡県環境保全協会・静岡県環境アセスメント協会・
静岡県主催

1. 日 時 平成 18 年 10 月 20 日(金)
13 時 30 分 ~ 16 時 10 分
2. 場 所 ツインメッセ静岡 西館 1 階 第 1 展示場
電話:054-285-3111
3. 講演予定
(仮題)「水・大気環境の課題と行政施策」
13 時 30 分 ~ 15 時
環境省水・大気環境局大気環境課長 松井佳巳氏
(仮題)「環境アセスメント制度の運用状況」
15 時 ~ 16 時
環境省総合環境政策局環境影響審査室長 早水輝好氏
4. 申込締切 平成 18 年 10 月 13 日(金)
5. 申込先 静岡県環境保全協会
電話:054-254-9663

労働安全衛生法が 9 月 1 日に改正 (アスベスト全面禁止)

労働安全衛生法施行令の改正により、石綿及び石綿をその重量の 0.1% を越えて含有するすべての物の製造、輸入、譲渡、提供、使用が禁止になりました。平成 18 年 9 月 1 日前に製造され、又は輸入された在庫品についても使用等が禁止されますが、同日において現に使用されている物については、同日以後引き続き使用されている間は、規定が適用されません。石綿障害予防規則の改正により、解体や改修時のアスベスト除去については、作業する労働者の安全を確保するために 0.1% を越えたアスベスト含有物が規制の対象になりました。又、除去作業の他、封じ込め、囲い込みの作業についても労働基準監督署への届出の対象となりました。

【平成 18 年 9 月 30 日現在会員数】 191 事業所